

令和3年3月17日
総合政策局公共事業企画調整課
水管理・国土保全局河川環境課
水管理・国土保全局治水課

社会資本整備審議会河川分科会 「河川機械設備小委員会」（第1回）を開催

河川ポンプ等の河川機械設備の老朽化等が懸念される中、今後の河川機械設備のあり方について審議していただくため、第1回河川機械設備小委員会を3月22日（月）に開催します。

河川機械設備のあり方について従来の考え方からパラダイムシフトを図った上で、更新・整備を加速化することが求められております。国土交通省では、2月18日に社会資本整備審議会に対し、「河川機械設備のあり方」について諮問しました。これを受けて、同審議会に設置された、「河川機械設備小委員会」の第1回会合を下記の通り開催します。

記

1. 日時 令和3年3月22日（月）10:00～11:50
2. 場所 中央合同庁舎3号館 4階幹部会議室（千代田区霞が関2-1-3）
3. 委員 別紙のとおり
4. 議題 河川機械設備のあり方について
5. 当日の傍聴・取材

- ・会議は公開にて行います。
- ・会議の傍聴を希望される場合は、3月18日（木）14:00までに、件名を「河川機械設備小委員会傍聴希望」とし、氏名（ふりがな）、所属、連絡先、カメラ撮りの有無（報道関係者のみ）を明記した電子メールを、メールアドレス【tsuruoka-h87bg★mlit.go.jp（★を@に変えて送付してください）】宛にお送り下さい。
- ・報道関係1社（団体）につき1名までとさせていただきます。会議室の収容人数の関係上、傍聴人数制限を設ける場合があります。カメラ撮りは会議の冒頭（議事に入る前の大臣挨拶（予定）、委員長挨拶）のみといたします。
- ・報道関係者を除く、一般傍聴については、WEB（Microsoft Teams）にて配信を行います。URLについては、後日、傍聴希望者へお知らせします。
- ・会議資料及び議事録は、後日、国土交通省ウェブサイトに掲載予定です。

【問い合わせ先】 総合政策局 公共事業企画調整課
企画専門官 増 竜郎（内線：24903）
計画係長 鶴岡 寛樹（内線：24934）
代表：03(5253)8111 直通：03(5253)8285 FAX：03(5253)1556

社会資本整備審議会 河川分科会
河川機械設備小委員会

委員名簿

池内幸司	東京大学大学院工学系研究科 教授
有働恵子	東北大学災害科学国際研究所 准教授
喜田明裕	一般社団法人 河川ポンプ施設技術協会 会長
戸田祐嗣	名古屋大学大学院工学科研究科 教授
野口貴公美	一橋大学大学院法学研究科 教授
平山朋子	京都大学大学院工学研究科 教授
◎ 松井純	横浜国立大学大学院工学研究院 教授

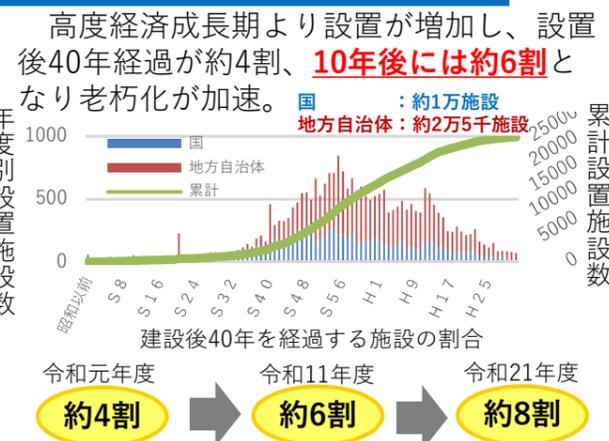
◎：委員長
※敬称略 五十音順

河川機械設備小委員会の設立について

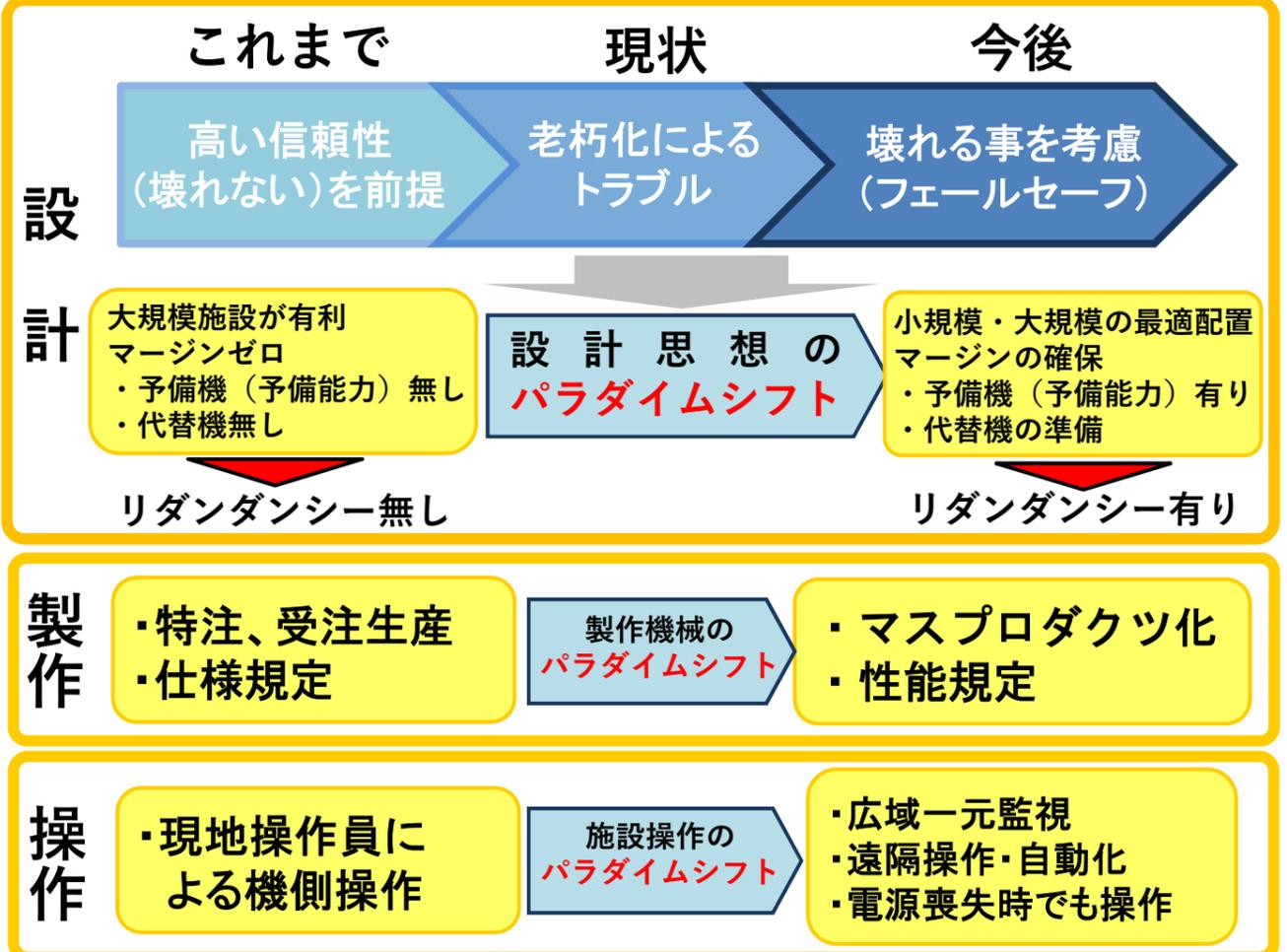
大更新時代・気候変動へ対応するための河川機械設備のパラダイムシフト

大更新時代・気候変動への対応

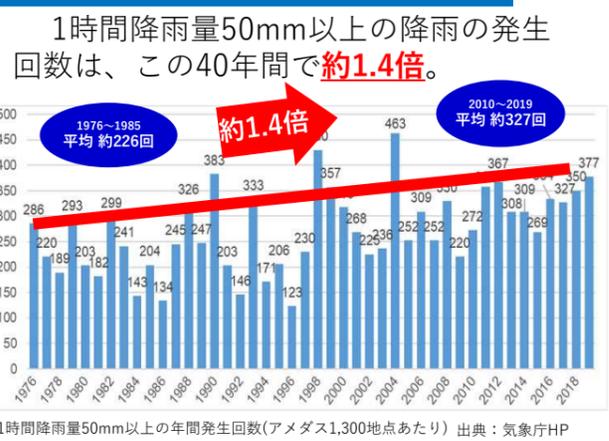
①大更新時代の到来



課題解決に向けたパラダイムシフト



②気候変動への対応



③リダンダンシーの確保 ④コスト縮減・メンテナンス性の向上

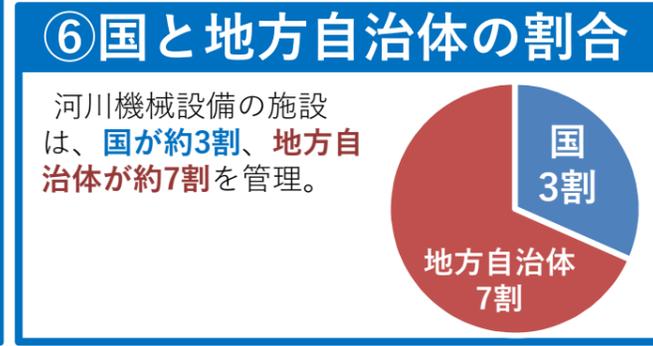
排水機場の故障により機能損失が発生。復旧までに長期を要する。

■主原動機の故障事例
ディーゼルエンジンの不具合による部品交換のため、出水期間中に**約2週間停止**。工場で整備した後、現地での組立作業が必要。

⑤担い手の減少・高齢化

主要水門メーカー

2000年 (H12) 20社
20年で6割減
2020年 (R2) 8社



【検討イメージ】

ポンプ配置のイメージ

大容量・少台数 (2台) → 設計のパラダイムシフト → 小容量・多台数 (8台)

エンジン
のマスプロダクツ化

船用エンジン (特注 約50百万円) → 車両用エンジン (量産品 約1百万円) コスト1/50

水門管理者 A
水門管理者 B
水門設備等の一元監視

河川機械設備とは

河川堤防などの土木構造物と一体となって機能を発揮するもので、固定的な構造物ではなく、自らが運転・稼働することにより機能を果たす、各機能要素を組合せたプラント的システム

堰 樋門 河川ポンプ(排水機場) ポンプゲート